



令和6年11月上旬分 ご意見回答



「ふれあいの箱」に、貴重なご意見・ご要望等お寄せいただきありがとうございます。
【ご意見】

11月上旬に寄せられたご意見について、次のとおり回答いたします。
皆様からいただきましたご意見等を踏まえ、地域の中核病院としてより良い医療を目指し、業務の改善と患者様のサービス向上に努めてまいります。

胃カメラの検査に行き、急遽予約とは別の先生に検査をしていただくことになり少し不安でしたが、スムーズに検査も終わり喉の違和感もなく上手に検査をしていただき安心しました。

手伝っておられた看護師さんがエプロン・受け皿を口元におかれたのですが、終わってベッドから起き上がろうとすると枕のほうから下に透明な液体が流れていて、服の肘が20センチくらいの長さでぬれていました。これは検査の時の唾液が受け皿に入らず、検査が終わるまでベッドに流れていたのだと思いました。

【ご意見】
今までの検査ではエプロン、受け皿の口元の確認もされましたが、今回は特に確認をされなかったためベッドに流れていたのだと思います。外で待って検査用紙を渡される時も、ベッドが汚れているのはわかっているのに何の言葉もありませんでした。これから検査をされる方もおられます。仕事はもう少し責任をもってしていただきたいです。不安な気持ちで検査に行くのですから先生は上手で感謝しますが、看護師さんにはこういうことがありました。

【回答】
このたびはご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。今後は、唾液で衣服が汚れないようなエプロンのあて方をスタッフ間で周知徹底してまいります。

【ご意見】
4階の看護師の方は、用があるとき必ず私の氏名を呼び、体温や血圧を計るが、2階ではお父さんと呼ばれています。多くの患者のうちの一人名とはいえ、それぞれに個性があるので、やはり名を呼んでほしい。おざなりにされているようでなじめない。

【回答】
職員の言葉遣いに関して、失礼がありましたこと大変申し訳ございませんでした。今後は安心して療養していただけるよう、スタッフ一同接遇の向上に努めてまいります。

今後とも建設的なご意見・ご提案等お寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年11月 患者サービス向上委員会

 日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 庄原赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

